

目黒区環境基本計画改定素案のポイント

計画の期間

2023（令和5）年度から2032（令和14）年度までの10年間。社会状況の変化等に応じ、概ね5年を目途に中間見直しを行う。

計画改定にあたっての視点

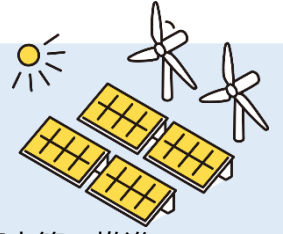
- ・2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた計画
- ・気候変動に適應するレジリエントなまちづくり
- ・SDGsの環境・経済・社会の統合的な課題解決に向けた計画

5つの基本方針と施策

基本方針1 脱炭素社会、気候変動への適應 —レジリエントなまち— カーボンニュートラルの未来をつくる

<施策の目標>

- ライフスタイルの省エネルギー化・脱炭素化の促進
- 積極的な再生可能エネルギーの活用
- 脱炭素型まちづくりの推進
- 気候変動適應策の推進



基本方針2 循環型社会 —資源が循環するまち— ものを大切にして資源が循環する 未来をつくる

<施策の目標>

- 3Rの取組の推進
- ごみの適正処理の徹底



基本方針3 自然共生社会 —みどりを感じるまち— 身近なみどりをはぐくみ、みどり豊かな 未来をつくる

<施策の目標>

- 自然環境の保全・みどりの創出と質の向上
- 都市の生物多様性の確保



基本方針4 生活環境 —快適に暮らせるまち— 健康で安心して快適に暮らせる生活環境の 未来を守る

<施策の目標>

- 安全・安心な生活環境の確保
- 清潔で美しいまちの維持



基本方針5 環境教育・環境学習・環境活動 —パートナーシップで取り組むまち— みなが環境を知り、学び、行動する 未来をつくる

<施策の目標>

- 継続的な環境教育と学習機会の充実
- 環境活動の支援



～2050年ゼロカーボンシティ実現に向けたロードマップ 3つの目標～

目黒区は、2050年に**ゼロカーボンシティ**の実現を目指すことを表明しています。

2050

再生可能エネルギー
導入容量
約 30,000 kW

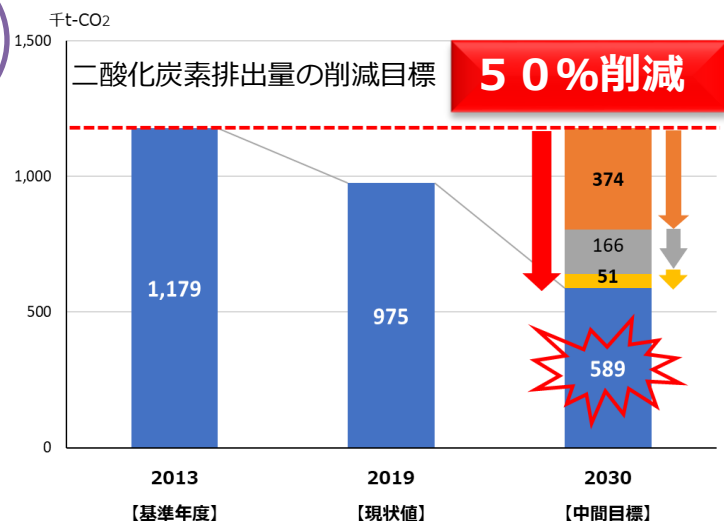
区の事務事業における
温室効果ガス排出量
60%削減



2030

2032

二酸化炭素排出量
50%削減



- 二酸化炭素排出量
- 現状すう勢 (対策継続) による削減見込量
- 電力排出係数改善による削減見込量
- 対策強化による削減見込量